

鏡視下手術について



信州大学医学部附属病院

整形外科 下肢グループ

文責：天正恵治

変形性膝関節症の手術治療

関節鏡視下手術

骨切り術（HTO）

人工膝関節置換手術

部分置換手術（UKA）

全置換術（TKA）

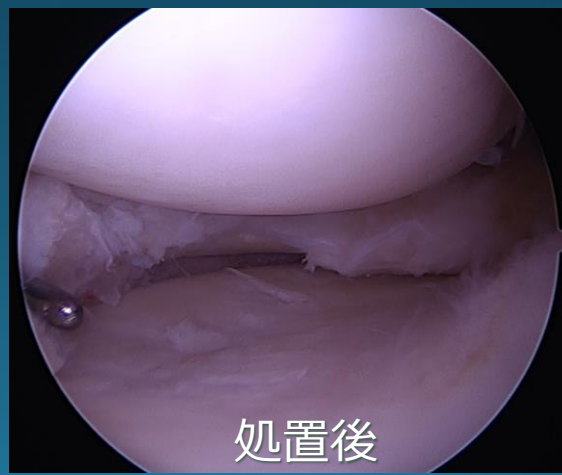
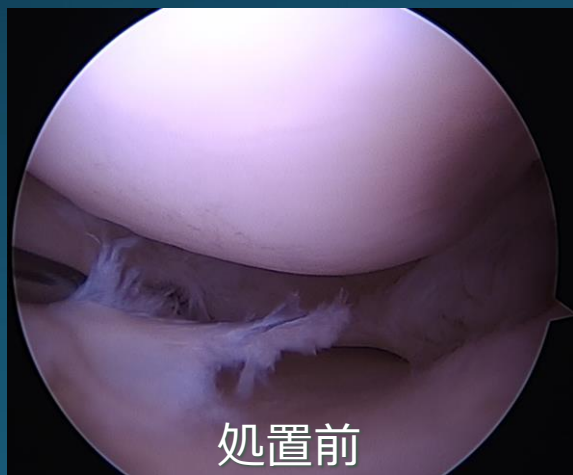
- ✓当大学病院では手術治療を主に行っております
- ✓患者さんの年齢・膝の状態・活動性・希望に合わせてどのような治療が良いかを判断します

関節鏡視下手術

鏡視下デブリードマン（滑膜切除・半月板切除）

関節鏡で痛んだ半月板や毛羽立った軟骨を
切除します

半月板が部分的に痛んでいる方
軟骨の損傷が軽度な方



変形性膝関節症の進行度

第1段階



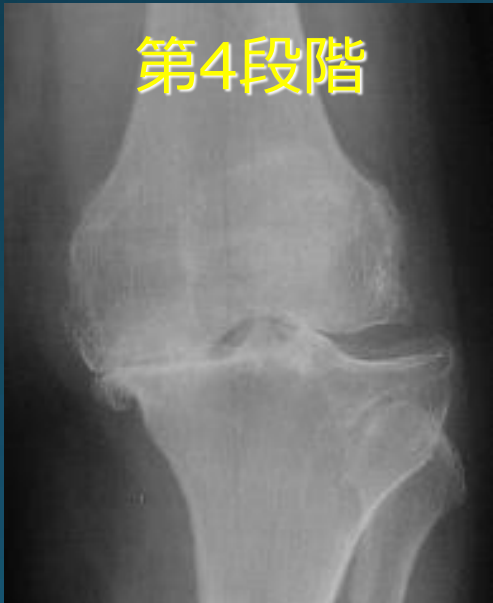
第2段階



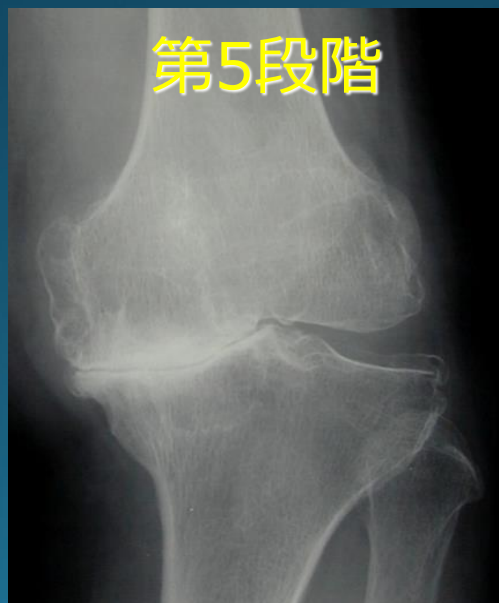
第3段階



第4段階



第5段階



立位正面X線像

病気が進んでない第1段階の患者さんが対象になります



関節鏡視下手術の術後経過

術後翌日～ 歩行可能

術後3-7日～ 退院

術後込み入ったりハビリは必要ありません

3 - 4 週間もすれば膝の状態はほぼ元に戻ります

運動は3ヶ月ほどで許可できます

(初期には控えた方がいいでしょう)



関節鏡視下手術の特徴

利点：

- ・手術としては小さい
- ・短期の入院
- ・リハビリが簡便（必要ない）

欠点：

- ・手術の対象が狭い
- ・変形の強い人・軟骨損傷が強い人
は効果が少ない
- ・将来的には再手術の可能性



変形性膝関節症の経過

変形性膝関節症（半月板切除）は悪性の病気ではありませんから発症したからと言って必ず手術をしなければならない訳ではありません。しかし、傷んだ半月板が自然治癒する事はなく、半月板の損傷も強くなってしまふことが一般的です。

痛みや引っ掛かりが強ければ手術をおすすめします。症状が落ち着いていれば経過を見ることをお勧めします。



よくある質問

Q：いつ手術をすればよいですか？

A：痛みや引っ掛かりが3か月以上持続し、希望される場合は手術をしたほうが良いでしょう。

よくある質問

Q：症状が余り強く無いのですが手術をしたほうがいいですか？

A：人工関節は痛みがあまり無い方には行いません。痛みが強くなり日常生活に支障をきたした時が手術の適切なタイミングかと思えます

よくある質問

Q：入院期間はどの程度ですか？

**A：おおよそ3-7日くらいです。
痛みや腫れが軽い場合には早めに退院できます
し、強い場合には時間がかかります。**

Q：付き添いは必要ですか？

A：必要ありません

Q：松葉杖は必要がありますか？

A：必要ありません。貸出があります。



よくある質問

Q：傷口はどのくらいの大きさですか？

A：5mm程度の傷が2－3か所できるくらいです。



よくある質問

Q：車の運転はどれくらいから出来ますか？

A：早期に車の運転をしても膝には負担がかかりませんが、交通安全の点から歩行が安定してから（手術後約1－2週）をお勧めしています。（左膝でも同様です）



よくある質問

Q：仕事にどれくらいで復帰できますか？

A：椅子に座ってできる仕事（事務職）であればすぐに復職できます。立ち仕事であれば2－3週くらいです。重いものを持ったりしゃがみこむ作業がある場合には1ヶ月くらいしてからが良いでしょう。早い時期に無理をすると急速に軟骨が摩耗してくることがあるので注意してください。手術で切除した後には軟骨の摩耗が進む可能性が高いので定期的な検診を受けることをお勧めします。



お願い

なるべく希望に沿うように手術を行うようにしていますが、当院は大学病院という特性上、希望をいただいてもすぐに手術日を決定してお伝えすることが出来ません。患者さんの希望に沿うようになるべく早く調整いたしますが、希望の時期を少し幅をもたせて検討して頂き、担当医にお伝えください。

